

教科	科 目	単位数	学年・クラス
商業	ネットワーク活用	3	3年1組

1 使用教材

使用教科書	ネットワーク活用
出版社	実教出版
副教材等	
出版社	-

2 学習の目標

- 1 文書や画像の作成・編集やWebページの製作など、情報通信ネットワークを活用して商取引や広告・広報を行う。
- 2 知識と技術を習得させ、ビジネスの諸活動において情報通信ネットワークを活用することの意義や、情報の信頼性の確保や知的財産の保護などの課題について理解させるとともに、情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を育てる。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	電子商取引に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、マルチメディアを活用したWebページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や企画、立案、制作の手法を身に付けているか。
② 思考・判断・表現	広報に関する基本的な知識・理解をもとに、目的に応じた適切な媒体や表現方法を選択し、情報の受け手の立場に立った分かりやすい情報発信を行うことができるか。
③ 主体的に学習に取り組む態度	情報技術の進歩に伴うビジネスの形態や広告・広報の変化に気づき、積極的な情報発信を行おうとする意欲を持って、効果的なWebコンテンツ制作活動に必要な知識や技術を積極的に学ぼうとしているか。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習状況の観察	B	B	A	毎時間の課題（問題集）
提出物	C	B	A	ファイルを定期考査毎に提出
ペーパーテスト	A	A	C	定期考査、確認テスト
検定試験	A	B	C	全商ビジネス文書実務検定、全商情報処理検定

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	第1章 情報通信技術の進歩とビジネス 1 ビジネスの変化 2 情報通信ネットワークの活用と課題 第2章 コンテンツの製作 1 ファイルの形式 2 図形 3 画像 4 動画 5 音声 6 情報の統合	ビジネスの諸活動において情報通信ネットワークを活用することの意義、情報通信技術の進歩による広告・広報活動の変化を理解させる。 インターネットサービスプロバイダの役割と業務について理解させる。 情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報を行う際の個人情報や知的財産権の保護の重要性について理解させる。 ファイル形式の種類や特徴を理解させる。 入力装置やソフトウェアを活用して、図形、静止画を編集する技法を習得させる。 ソフトウェアの基本的な仕様の理解とポスター制作にあたって、効果的なポスターとはどういったものなのかについて理解させる。 入力装置やソフトウェアを活用して、動画、音声を編集する技法を習得させる。
2 学期	第3章 ウェブデザインと広告・広報 1 ウェブページ制作までの手順 2 ウェブデザイン設計 3 ウェブページ制作の基礎 4 ウェブページ制作の応用 第4章 ウェブページの公開 1 ネットワーク機器の種類と機能 2 公開の方法	Webページの製作に対する要求を分析し、それを基に企画・立案して製作する手順や方法について理解させる。 Webページの製作に必要な配色、構成、フォントの選択など、デザインに関する基礎的な知識と技法を習得させる。 直接タグ打ちを行いHP作成に必要な基本的なHTML言語を活用できる技術を習得する。 HPビルダーを使ってHPを作成する技術を習得する。
3 学期	第5章 電子商取引とビジネス 1 電子商取引のしくみ 2 企業間取引と企業対消費者間取引 3 電子決済のしくみと方法 4 電子商取引システムの作成	情報通信ネットワークを活用して、商品売買や金融取引を行うしくみ、電子商取引を始めるための手順および電子商取引に関する法規について理解させる。 企業間取引と企業・消費者間取引について理解させる。 電子決済のしくみおよび電子商取引における電子決済の意義について理解させる。